

米国株式型特別勘定 運用状況 (2010年4月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S&P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	9,378,490	98.2%
現預金・その他	169,297	1.8%
合計	9,547,787	100.0%

運用状況

2010年4月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で1.60%上昇しました。雇用や住宅関連の好調な経済指標及び予想を上回る企業決算等を受け、上昇基調で推移しました。しかし月半ばに米金融大手ゴールドマンサックスが米証券取引委員会に提訴されたことから金融株を中心に下落に転じ、月末にかけては欧米諸国の財政不安が再燃するなど、月を通しては小幅上昇に留まりました。このような市場環境の中、円安が進行したこともあり、当特別勘定は3.84%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

4月は資金流入に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の購入を行いました。

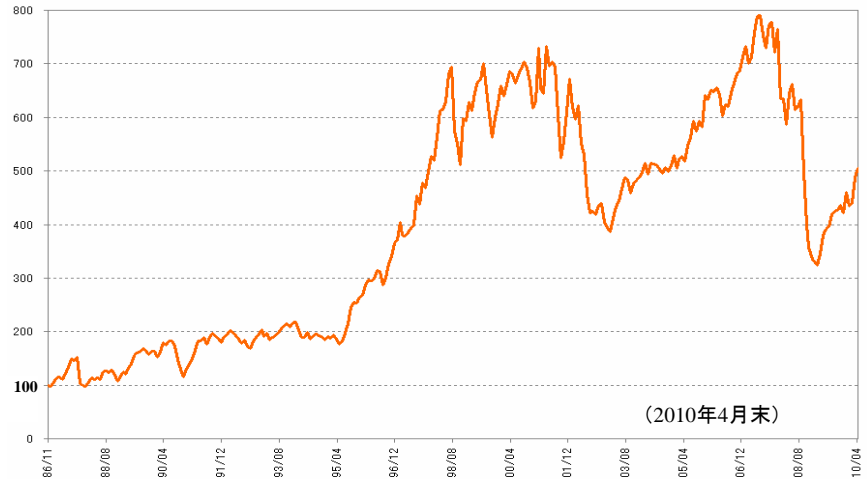
5月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
505.47785717	+3.84%	+16.49%	+16.08%	+32.93%	▲33.39%	▲2.29%	+405.48%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移 (運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。